

令和7年度子どもの新たな体験活動の創出と地域の再発見事業（報告）

- 1 学校名 茨城町立葵小学校
- 2 実施日時 令和7年10月8日（水） 8：40～14：30
- 3 参加者数
 - ・児童 63名
 - ・引率 6名
 - ・ボランティア 6名 （弘道館解説2名、班別行動引率4名）
- 4 テーマ 「働くこと」とは、どんなことだろう。
- 5 ねらい 職場の見学・働く人へのインタビューを通して、働くことについて考え、キャリア教育を推進する。
- 6 事業を実施して
 - (1) グループ数 12
 - (2) 事業所訪問数 9
 - (3) 子どもの様子・声
 - ・働くことは大変だけれど、やりがいもきちんとあるんだと分かった。
 - ・大変なことだけでなく、うれしいことや喜びもあるんだと知れた。
 - ・自分のやりたい仕事に就いて働くために、資格をとったり勉強したりしなといけなかった。
 - ・働くということについて、真剣に考える機会になった。
 - ・「働く」ということには、「責任」が伴うということを改めて感じた。
 - ・自分たちの生活のために、たくさんの方ががんばってくれていることを知ったので、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思った。
 - ・みんなの役に立てる仕事を見つけない。
 - ・誰かの笑顔を見られる仕事を、自分もしていきたい。
 - ・今の自分は仕事をしているわけではないけれど、やると決めたことは最後までやり通せるようにしたいと思った。
 - ・初めてがいっぱいだったけれど、みんなと力を合わせて活動できた。
 - ・初めて自分たちだけでバスに乗れた。ドキドキしたけれど友達と一緒にだったから、目的地までたどり着けた。
 - ・ボランティアさんが優しく見守ってくれてうれしかった。
 - ・当日に向けた準備も、当日の活動も、自分たちでたくさん考えて行動したので、疲れたけれど楽しかった。
 - ・バス停で迷ってしまったけれど、そんな時に、困った時には聞くことが大切だと感じた。

(4) 成果と課題

○成果

- ・子供たちが主体となり、グループ毎に目標を立てて活動ができた。
- ・グループで協力し合い、行ったことのない場所を自分たちの力で訪ねるということも、貴重な経験になった。
- ・児童が興味のある事業所見学ができたことで、意欲的に活動ができた。
- ・将来への希望が大きく膨らんだり、働くことについて考えたりするきっかけとなった。
- ・水戸の歴史に触れ、魅力の再発見ができた。

○課題

- ・児童の計画の開始時期が夏休み明けとなってしまう、1ヶ月前までに計画書を提出できなかった。
- ・ボランティアさんの協力をいただいて成り立った部分もあったので、児童だけで行動するとなると、緊急時の連絡方法など、もう少ししっかり決めておかなければいけない。

(5) 事業についての意見

- ・事業所とのアポイントを取ることにについて、ひと・まちネットワークさんが間に入っていて大変助かりました。
- ・ボランティアさんのご協力等、とても助かりました。
- ・細かくフォローしていただいたので、不安なく当日を迎えられました。

7 校外活動の様子

